

山形県立博物館ニュース

no.156 2010.1.21



特別展「山寺—歴史と祈り—」解説会

見やすく、わかりやすく

館長 佐藤 広明

「行く前からドキドキワクワク」、「いろんな物があってとってもおもしろかった」、「すごい博物館です」、「一番の博物館です」、「ぜったいに、また行くからね」——小学生の感想文にはいつも勇気付けられる。

彼らのお気に入りには実にさまざまで、紫水晶やきれいな石だったり、ヤマガタダイカイギュウや葉っぱの化石やナウマンゾウの歯だったり。他にも、ツキノワグマやブナ林の動物たち。イヌワシ。オサガメ。昆虫。縄文ヴィーナス。昔の道具や農具。昔の電話。マント。ミンククジラの骨格標本。体験コーナーの遊び、などなど。鳥の巣や陣笠というのものもある。曇りのない目は、陳列してあるちょっとしたものにも宝を見い出す。

博物館で何を見、何を感じるかは見学者次第であり、展示品が如何に貴重でも、どれほど美しくても、モノの方から語りかけることはなく、見学者自身に何かを感じ取ってもらうところが博物館である。だからこそ、何よりも展示品を十分に見ていただけるようにすることが、当たり前だが、もっとも大切なことと思う。

そのためには、「見やすく」かつ「わかりやすい」展示でなければならない。これまでも努力は続けてきたが、今後は、社会科見学の一環として来館する小学4年生を念頭において、見直し作業をいっそう加速させたいと思っている。そうすることで、博物館の「楽しさ」や「おもしろさ」や「すごさ」などは、来館する子どもたちに自ずと今以上に刻印されるのではなかろうかと思う。

展示報告

◆特別展「山寺－歴史と祈り－」を振り返る

去る、平成21年8月8日(土)～10月19日(月)の約2ヶ月半の期間で、特別展「山寺－歴史と祈り－」展を開催した。ここでは、展示会にお越しいただいたお客様のご意見を、アンケートをもとに振り返ってみたい。

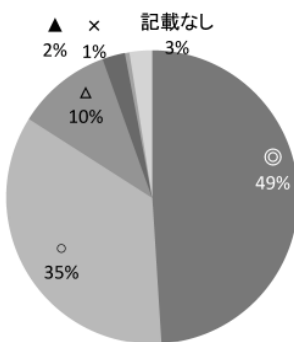
今回のアンケートの回答では、10代と50～60代の回答数が比較的多い傾向があった。県内・県外の来館者とも半数ずつの割合であった。来館目的として6割が特別展をあげている。チラシ・ポスターで知ったり、公共の知らせ、ラジオ、HPなどで情報を得たりしている。内容は、様々なご意見を頂戴したが、概ね「とても良かった」、「良かった」で約8割に達した。ただし、良くないとした方には、展示方法や説明についてご指摘をいただいているものなどもある。さらに、円仁関連の出品が少ないことや、説明文をもっとくわしくとの指摘もあった。今回のアンケートにご協力いただきました来館者の方々に心より感謝申し上げます。



現地研修会

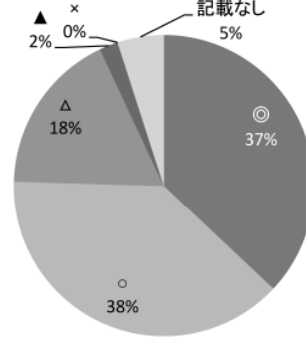
特別展の内容について

展示資料はいかがですか？



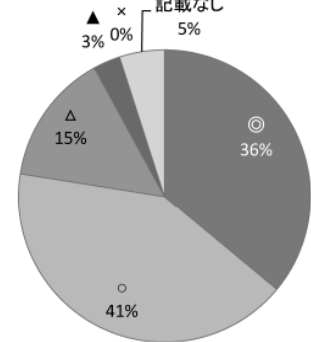
(200/200)

展示方法はいかがでしたか？



(200/200)

説明文はいかがでしたか？



(200/200)

凡例 ◎「とても良かった」○「良かった」△「ふつう」□「あまり良くなかった」×「良くなかった」

◆山形県立博物館友の会共同企画展 第一回「私の宝物」

本共同企画展は、今年度の友の会事業の主要事業として初めて実施したものです。故石島会長は〔2008.11.14〕の日付で、次のような案を事務局に送っていました。

第1回 私たちのお宝展 (第一次案)

1. 目的：資料をもちよりその資料の見方をはじめ鑑賞しあい、会員の教養をたかめ相互に学習しあう。一案内チラシ必要
2. 資料：会員がお持ちのものまたは気易く借りられるもので、本人がお宝だと思えば何でもよい。(1会員1点とする。)
3. 解説：その資料の簡単な解説をそえ、決められた日に搬入する。その交通費は本人負担とする。

以下、11番まで、あり方・内容について会長の思いが綴られていました。これをもとに役員会・総会で検討し、展示会に向けての準備が始まる予定でした。曲折があり、さまざまな課題を抱えながらの展示会になった事は否めません。



ミニ解説会

展示の内容は、「わが家の宝物」・「わたしのたからもの」・「博物館の宝物」の三部構成とし、34件・160点の資料を展示しました。期間中は「ミニ解説会」を5回実施しています。友の会会員を始め、県立博物館関係者にお礼を申し上げます。来年度の友の会総会で総括を行い、会長の思いを受け継ぎながら次年度に生かしていきたいと考えています。なお、期間中来館者のアンケートについては、「友の会だより」第8号(2010.2発行)に掲載予定です。

〔友の会事務局〕

文化庁「地域文化芸術振興プラン」

「山形の宝もの展」～山形県内博物館・美術館所蔵品による～のご案内

県内博物館・美術館の選りすぐりの所蔵品を「山形の宝もの」として一堂に集め、県内5会場を巡回展示します。このことにより先人たちの熱い思いを、今を生きる多くの方々に思い起こしていただくとともに、次世代へとつないでいきたいと思ひます。

なお、多くの方々に鑑賞していただくため、**本展覧会は入場無料**としています。

- 庄内 平成22年1月9日(土)～31日(日)
鶴岡市 到道博物館(開催期間中無休・常設展は有料)
酒田市 本間美術館(開催期間中無休)
- 村山 平成22年2月10日(水)～28日(日)
山形市 山形美術館(月曜休館・常設展は有料)
山形県立博物館(月曜休館・開催期間中無料)
- 置賜 平成22年3月13日(土)～27日(土)
米沢市 伝国の杜 米沢市上杉博物館(月曜休館:祝日の場合はその翌日・常設展は有料)

◆山形県立博物館「山形の宝もの展」出展作品



■チョウの標本



■ナウマンゾウ
左上顎第3大臼歯



■明治時代の
鳥海山の植物標本



■双鳳環柄頭



■須川・最上川絵図



■初代統一山形県令
三島通庸自筆の和歌



■山寺状



■ペリアン指導の
折りたたみ寝椅子



■羽州川通絵図



■蘭の図譜
ー池田コレクションー

催物案内 展示会案内

◆企画展「貝の世界—加藤繁富コレクション—」

2005年に加藤氏（舟形町出身）より貝類標本の寄贈を受けました。寄贈を受けた標本は、膨大な加藤氏のコレクションの中から選び抜かれたもので、大きさや色、形など多岐に渡っています。このたび、コレクションの整理作業が終了したことを機に寄贈された貝類を展示し、さまざまな場所に生育している貝類の多様性を紹介します。



期間は3月16日（火）～5月9日（日）までとなります。

総合学習（職場体験）の受入（8月～1月）

南陽市立赤湯中学校 南陽市立梨郷中学校
山形市立第十小学校 山形市立第五中学校



職場体験（第十小学校）

今年度の来館団体紹介（8月～1月、66団体）

◆学校関係

河北町（北谷地小学校・谷地中部小学校）、上山市（中山小学校・南小学校）川西町（第一中学校）、寒河江市（高松小学校）、鮭川村（大豊小学校）、高島町（糠野目小学校・和田小学校）鶴岡市（大泉小学校・湯田川小学校・鶴岡北高校）、天童市（蔵増小学校・高揃小学校・寺津小学校・成生小学校）、戸沢村（神田小学校）、西川町（沼山小学校・睦合小学校）、真室川町（平枝小学校）、村山市（楯岡小学校）、山形市（あおぞら幼稚園・星幼稚園・星幼学園・山形聖マリア幼稚園・大曾根小学校・桜田小学校・鈴川小学校・第一小学校・第二小学校・第三小学校・第四小学校・第五小学校・第七小学校・第八小学校・千歳小学校・出羽小学校・東小学校・双葉小学校・南小学校・南山形小学校・みはらしの丘小学校・村木沢小学校・明治小学校・山寺小学校・山寺中学校・霞城学園高校）、山辺町（大寺小学校）米沢市（関根小学校・三沢西部小学校・三沢東部小学校・第一中学校・第五中学校・米沢興譲館高校）



◆その他

大阪府老人大学考古学科・ふれあいサロン八朗会・河北町婦人会・小白川自治会・とかみ共生園・山寺いきいきサロン・山寺老人会・名取たかだて公民館・山形大学附属博物館・山形県観光振興課・山形市生涯学習センター・行政院文化建設委員会（中華民国）

友の会入会案内

山形県立博物館友の会は、博物館事業を支援し、地域文化の発展に貢献するとともに、会員相互の交流を図ることを目的とする。

- おもな活動 会員の学習と交流（講演会・学習会、会報などの発行）
博物館への協力（教育活動・資料調査・展示・広報活動への協力）
地域への貢献（出版物刊行・販売）
- 会員種別 個人会員（年会費 1000 円） 団体会員（年会費 2000 円）
家族会員（年会費 1 人 600 円、住所が同じ家族）
- 会員になると
会員証の発行。
会報・友の会行事・催物案内の配付。
その他、会員特典あり。

山形県立博物館 〒990-0826 山形市霞城町1番8号 tel 023-645-1111 fax 023-645-1112 山形県立博物館教育資料館（分館） 〒990-0041 山形市緑町2丁目2番8号 tel 023-642-4397 fax 023-642-4403
